

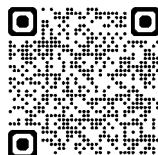
星のたより

2025(令和7)年
9月号
Vol. 372

イベント予告「第30回月まつり」 ～月を楽しみましょう～

今年の中秋の名月は、10月6日(月)です。中秋の名月前の土曜日に恒例の「月まつり」をおこないます。103cm大型望遠鏡などで月の観察をしたり、いろいろな工作体験やプラネタリウムで楽しみましょう。お茶席やお月見コーナー、お楽しみ抽選会などもあります。

日時：10月4日(土) 17:00～21:45
詳しい内容は、公式HPをご覧ください。



さじアストロパークの
ホームページはこちら



☆今月の豆知識☆
① みへび座とみずへび座っていう星座があるんだよね。「うみへび」はよく聞くけど「みずへび」ってあまりなじみがないかな。調べてみたら、ちゃんと「ミスヘビ科」って種類があるんだね。知らなかった。ほかにも、夏の星座で「へび座」というものもあるから、人気があるのかな？



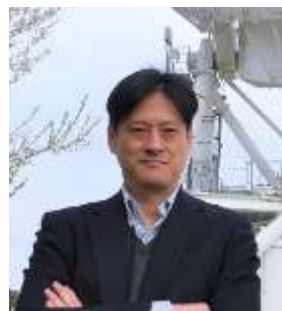
イベント案内 ～アストロ天文講演会、出前観察会、期間展示～

1. アストロ天文講演会：「本間 希樹(ほんま まれき)」先生をお招きし、「人類が初めて見たブラックホールの姿」と題してお話をさせていただきます。

日時：9月7日(日) 13:30～15:00

講師：本間 希樹氏(国立天文台水沢 VLB 観測所所長)

詳しい内容は、公式HPをご覧ください。



本間希樹さん

2. アストロ出前観察会「中秋の名月を見よう」：鳥取市内で中秋の名月を観察します。

日時：10月6日(月) 18:30～20:00 場所：イオン鳥取店屋上

3. 期間展示「さじアストロパークコレクションシリーズ①「天文現象」：2024年(令和6年)7月、さじアストロパークは登録博物館となりました。1994年7月のオープン以来、30年以上にわたり撮りだめてきました「天文現象」の写真や映像を展示します。

展示期間：11月30日(日)まで

入館料(高校生以上 300円、中学生以下無料)でご覧いただけます。

「星のたより」はこちらから



イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。

公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆さじアストロパークコレクションシリーズ①「天文現象」11月30日(日)まで
1994年7月オープン以降、これまでに起こった様々な天文現象の写真などを展示

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク

第2部 テーマ番組「キッツと仲間たちのスーパームーンアドベンチャー」

6月18日(水)～9月15日(月・祝)まで

テーマ番組「ゆるり星空めぐり 星のいろいろ」

9月18日(木)～12月14日(日)

☆夜間観望会☆ ☆9月のテーマとおすすめ情報

月を見てスマホで撮影しよう	5(金)、6(土)
スマホで天の川を撮ろう	12(金)～14(日)、19(金)、20(土)、26(金)、27(土)
観望会で月がよく見える	2(火)～6(土)
観望会で満天の星が楽しめる	13(土)～15(月・祝)、18(木)～21(日)、23(火・祝)、25(木)～28(日)

☆9月の休館日 1(月)、8(月)、16(火)、17(水)、22(月)、24(水)、29(月)

※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。



プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

1. プラネタリウム ☆平日は3回、土日祝は4回投影しています
前半は専門職員による当日夜の星空生解説、後半はテーマ番組投影の2部構成です。テーマ番組は定期的に変更しています。

★前半の当日夜の星空解説

星座の探し方を中心に当日夜の星空を専門職員が語り紹介します。

★後半のテーマ番組

夏のテーマ番組【キッツと仲間たちのスーパームーンアドベンチャー】

※猫たちと月に探検に出よう！ 投影中～9月15日（月・祝）まで

秋のテーマ番組【ゆるり星空めぐり 星のいろいろ】

※星の色々な秘密と魅力をゆるりのご案内します。

9月18日（木）より投影が始まります。



© KWON O CHUL & Cho Hea Seung



2. 103cm大型望遠鏡での夜間観望会（天体観察会）

月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。金曜日と土曜日の事前予約は不要です。その他の曜日については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約ください。



9月の星座と観察天体より

☆ やぎ座

やぎ座は、上半身が山羊、下半身が魚という変わった姿の星座です。神話では、美女と音楽と平和を愛し、時に少しおっちょこちょいぶりを発揮する愉快な森と牧場の神パーンが化けた姿と言われています。あるとき、ギリシャの神々が集まって大宴会を開いていた時、音楽や踊りの特異なパーンは、シュリンクスの草笛を吹くなどして大活躍。と、そこに突如怪物ティフォンが表れて会場は大混乱になり、神々は各々いろんな姿に姿を変えて逃げ出しました。慌てたパーンは急ぎ川に飛び込んで魚に姿を変えようとしたところ、水につかっていた下半身だけが魚で、上半身は山羊という奇妙な姿になってしまいました。それを見た神々の王ゼウスがその姿を気に入り星座にしてしまったのでした。やぎ座には明るい星はありませんが、三角形のように並んでいる星々を夜空で見つけてください。



☆ 秋の球状星団 M15（ペガサス座）

M15は、秋の澄んだ夜空に見られる球状星団の代表格です。

時間があれば、M15の南にあるM2（みずがめ座）やM30

（やぎ座）の球状星団と見比べると、星々の密集の違いなどがわかります。

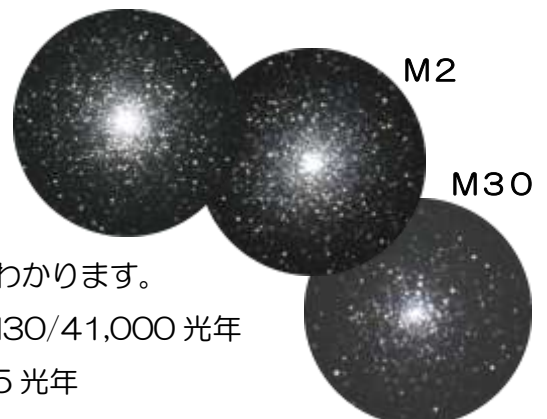
距離 M15/33,600 光年、M2/37,500 光年、M30/41,000 光年

星団の広がり M15/88 光年、M2/104 光年、M30/75 光年

M15

M2

M30



アストロ宇宙講演会&皆既月食

9月7日(日)に行われるアストロ宇宙講演会と9月8日(月)に起こる月食を紹介します。講演会では、ブラックホールのお話をさせていただきます。

アストロ宇宙講演会

9月7日(日)に国立天文台教授・水沢 VLBi 観測所所長の本田希樹さんを招き、アストロ宇宙講演会を行います。本田さんは、国際的なプロジェクト「EHT(イベント・ホライズン・テレスコープ)の日本代表として、ブラックホールを黒い穴として、初めて画像としてとらえた方です。

日 時：2025年9月7日(日) 13:30~15:00

会 場：佐治天文台1階会議室

定 員：80人

参加費：無料



(但し、展示見学・プラネタリウム観覧には別途料金がかかります)

皆既月食

9月8日(月)に月食が起こります。今回は、皆既月食です。皆既月食は、2022年11月8日以来となります。月食の進行は以下の通りです。

2025年9月8日(月)

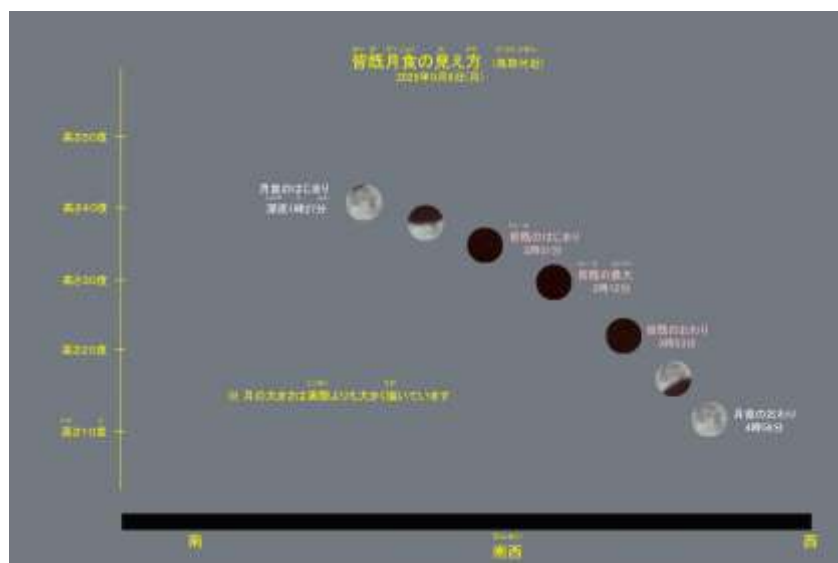
月食の始まり：午前1時27分

皆既の始まり：午前2時31分

皆既の最大：午前3時12分

皆既の終わり：午前3時53分

月食の終わり：午前4時56分



今回の月食は、深夜から早朝にかけて最初から最後まで見ることができます。ただ、平日の月曜日ということもあり、仕事や学校のある方は無理をしないよう、観察してください。

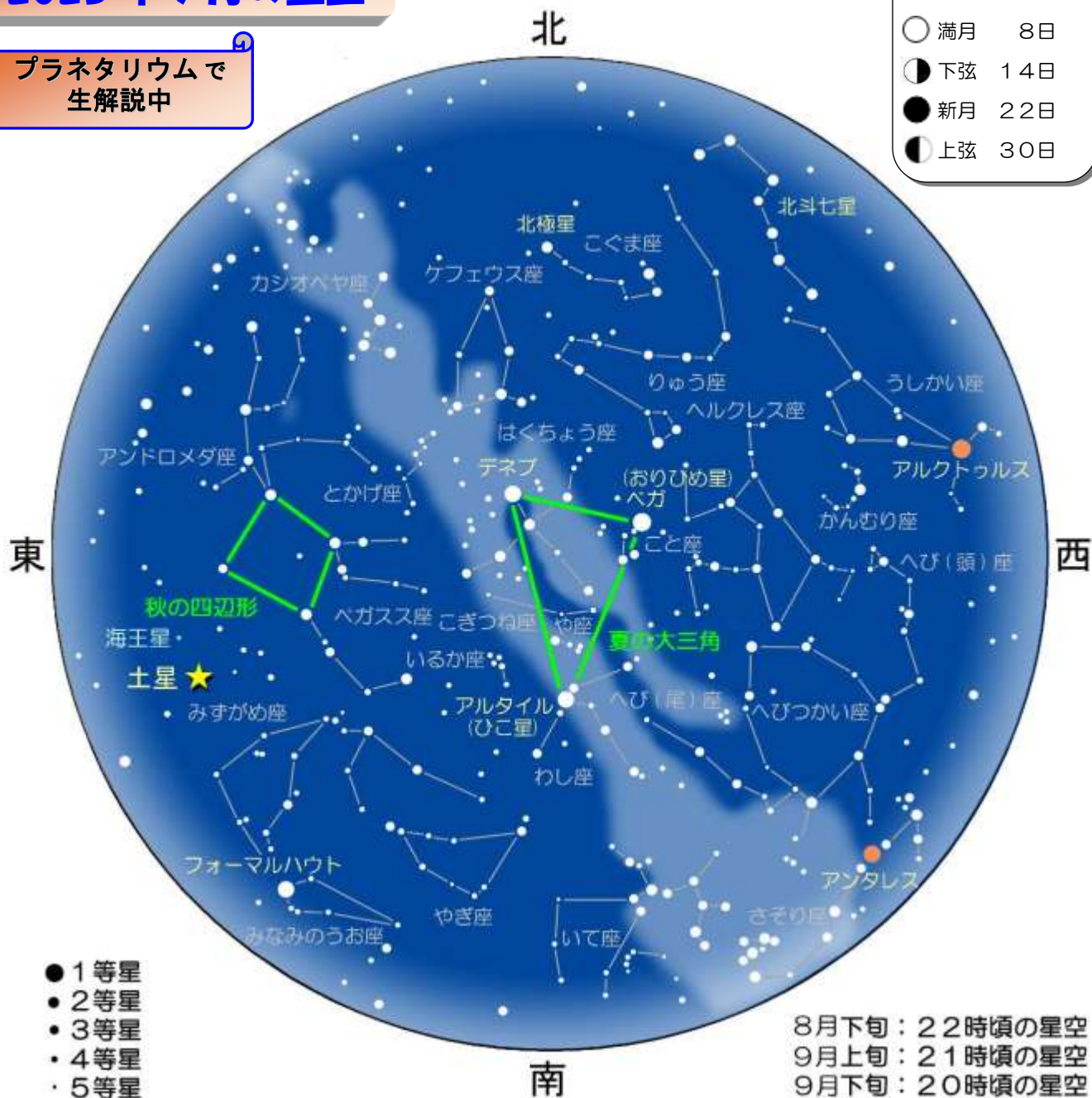
今回の月食は深夜から始まるということもあり、残念ながらアストロパークでの観察会はいりません。もし、今回の月食を見逃した方は、来年3月3日(火)に皆既月食があります。こちらは午後6時50分頃からはじまります。見やすい時間帯に起こります。来年3月3日(火)はアストロパークでも観察会を行います。

2025 年 9 月の星空

プラネタリウムで
生解説中

9 月の月の暦

- 満月 8日
- ◐ 下弦 14日
- 新月 22日
- ◑ 上弦 30日



☆まだまだ暑さは続きますが、空を見上げると秋らしくなってきましたよ。夜風が冷たくなってくるのでしっかり防寒対策をして出かけましょう。

☆空を見上げると夏の星座たちの東側から秋の星座たちが昇ってきていますよ。まずは直角三角形のような「夏の大三角」を探しましょう。一番明るい星がこと座の「ベガ（おりひめ星）」、最も尖った角にあるのがわし座の「アルタイル（ひこ星）」、もう一つがはくちょう座の「デネブ」です。夏の大三角から南西に向かって天の川も広がっています。東の空にはペガスス座が昇ってきています。「秋の四辺形」を目印にして探してみましょう。明るい星が少ない秋の空で唯一の1等星「フォーマルハウト」が南西低い位置に輝いており、その東には「土星」が見えます。望遠鏡で観察すると細くなった輪が見えますよ。また、9月8日の午前3時ごろ皆既月食が見られます。早起きできたら南西の空を見てみましょう。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp